

# くらしの相談センターだより

所長 宮原春夫 2022年9月 第228号

発行：くらしの相談センター  
〒210-0005 川崎市川崎区東田町10-36 電話&FAX 044-246-6823  
E-Mail h-miyahara@siren.ocn.ne.jp (HP) http://kurasino-soudan.jimdo.com/

シリーズ  
ご存知ですか

## 10月1日にカード化 高齢者パスの問題点

川崎市では70歳以上の高齢者を対象に社会参加の支援を目的に、市内を運行する路線バスに優待乗車できる高齢者特別乗車証明書（高齢者パス）を発行してきました。

「高齢者特別乗車証明書」を購入し半額で利用する方法と「高齢者フリーパス」を購入し何回でも利用できる制度です。

両制度とも紙の券でしたがこれを10月1日に一斉にICカードに切り替えるのが川崎市の取り組みです。

### 【みどりの窓口にて】

7月下旬ICカードへの切り替え通知が郵送されてきました。通知ではスイカとパスモを利用し従来の制度を紐づける内容でした。このためスイカとパスモを持っていない高齢者はどちらかを購入する事、すでに所持している場合、無記名カードには記名が必要となりました。更に申請にはカードの表裏のコピーと番号通知書兼申請書への記入が求められました。高齢者にとっては簡単な作業ではありません。

その結果、川崎駅でも「みどりの窓口」に高齢者が押し寄せる結果を生み、市が用意したコールセンターの電話はつながらない日々が続きました。

### 【目的は費用負担の確定】

大きな混乱を生んでいるICカード化、最大の目的は「正確な利用人数の把握」です。利用人数を基礎に川崎市とバス事業者との費用負担割合を確定することにあります。長年、市とバス事業者の調査に差があり市の負担金

が少ないとの指摘がありました。（表一参照）

### 【制度維持・改善の運動を】

川崎市はICカード化の後、対象年齢や利用者負担の見直しの検討を表明しています。

こうした市の動きに対し年金者組合は制度の維持とJR南武線への割引適用など改善を求め陳情を提出し、現在、制度維持を求める「高齢者外出支援事業請願署名」に取り組んでいます。

高齢者の外出支援は健康増進し社会参加を保障していく事に繋がります。

表一バス利用回数調査結果(月1人当たり)

川崎市の調査		バス協会の調査	
2016年	2019年	2016年	2019年
13.2回	17.3回	32.1回	33.49回

今、制度の改善が求められています。

川崎社保協 事務局  
鷲北栄治

## 「おのれの力で起きなさい」「一度と裸に戻せなさい」決意



見守るおばあさん 原爆ドームを学ぶ

「ロシアは何で核兵器を使うなんて言っただい！」と怒る小5の息子と、8月4・6日、広島での原水爆禁止世界大会に参加しました。世界の核廃絶運動家の「実際に核兵器が使われる危機感がある」との言葉、被爆者の「絶対に次の被爆者を作らせはならない」との言葉が印象的でした。息子がロシア代表の方に質問する一幕もありました。

親になってみると原爆資料館の受け止め方も一変しました。「おうちちゃん、おかあちゃん」と苦しみ亡くなった6歳の子。探し当てた子が変わって果てた姿になっていたお父さん。心中を考えると涙があふれました。

「核兵器の使用」「核武装」などと簡単に口にする政治家もいますが、決して許してはなりません。「なんでロシアやプーチン大統領は核兵器を使うとするのか」という息子に、「世界では、まだ『きのこ雲の下』で何が起きたのか、知らない人の方が多くて『ちよっと大きい爆弾』くらいに思っている人もいます。だから、日本に住む僕たちが原爆の恐ろしさを知って、被爆者の人たちと一緒に世界中に広げないと。君たちが本当に直接被爆体験を聞ける最後の世代。しっかり語り継ごう」と答えました。被爆者のみさんの命あるうちに、リアルに胸に刻み、次の世代に語り継ぎたいと思います。

日本共産党市会議員  
片柳すすむ

## 散財する養子と手を切り 実の妹達と余生を送りたい

### 相談事例 (その204)

小田に住むKさんから、「姉のAさんは先妻の子と二人で桜本で暮らしている。身体が不自由になったので『うちよ銀行』の通帳と印鑑キャッシュカードをTに渡し買い物や病院、デイサービスの支払い等をお願いしていました。」

ところがTは仕事もしないで週5日ホテル住まいでAさんのお金を使い放題で不安になったAさんは、小田に住む妹のお世話になるから通帳と印鑑キャッシュ

カードを返してとTにいても返してくれずこれがもとで争いになり、トラブルになっていくという相談でした。

所長が7月中旬Aさんの委任・任意後見契約の受任者になって、施設に入っているAさんの外出許可をもらって銀行、通帳の新規発行と改印、キャッシュカードの発行と暗証番号の変更を行いTが勝手にAさんのお金を下ろせないようにしました。

8月中旬Tさんから「うちよ

銀行からお金が下せなくなったがどうなっているんだ！」と電話が来て、相談センターで数回話し合いをしました。

義理の母のAさんが「貴方と養子縁縁したいと希望していますが貴方はどう考えていますか」と聞くと「これから義母は誰が面倒を見てくれるのですか」。

それは「任意後見受任者の所長がAさんの2人の妹さんと相談しながらお世話することになります」と説明すると「これまでも使ったお金はどのようか」と聞かれたので「Aさんは養子縁縁届に無条件で署名捺印してくれたら不問にするとおっしゃっています」と説明するとTさんは「しばらく考えさせてください」と言って帰られました。

8月下旬になって「養子縁縁届に署名捺印しますのでよろしくお願います」と連絡がありました。

無事和解が成立し所長と行政書士が証人となり川崎区役所に提出し養子縁縁届が受理されました。

### 絵手紙

新婦人・川崎南支部  
エンゼル班 坂本由美さん(藤崎在住)



迷ったとき、困ったとき、ぐらしの相談センターへ（無料です）

8月の相談内容と件数  
(7月21日～8月20日に受けたもの)

相談内容	件数	
	当月	1-8月合計
住宅問題	2	9
生活保護	2	6
身障者問題	0	3
就職・仕事	0	3
医療・病院	0	8
市への要求	0	2
多重債務	0	1
架空請求	0	1
税金・年金	0	1
交通事故	0	1
子供問題	0	0
離婚問題	0	1
弁護士等の相談	0	10
不動産問題	0	8
後見・相続	1	16
その他	6	43
合計	11	113
開設からの総合計 (2003年9月)	7837	

今月は夏休みがあったため、相談件数は少なくなっています。そんな中、宮前区の人が相談センターのホームページを見て相談してきました。相談事はその地域の事なので、石川健二(宮前区)市議員を紹介して、相談にのってもらいました。ホームページも毎月変更していますので、ぜひ皆様も見てください。

**9月の予定**  
★**無料法律相談日**  
☆**9月20日(火)**  
予約が必要です。  
要件をまとめて

★**土日祭日は休み**

●**相談時間**  
午前10時～17時です

**中央地域  
境町相談所**

日本共産党中央地域  
後援会事務所  
「困ったとき・  
迷ったとき」  
ご相談ください。  
午後 13時～16時  
(土・日・祭日除く)

電話 044-233-5812  
所長 片柳すすむ

川崎市は首都東京を前にして人口が増え続けている。ところが、子育て世代の30歳台、40歳台の人口が減っています。川崎市から転出していく人のアンケートの結果は小児医療費助成制度がないことが理由にあげられています。このような状況下、署名を集めるなど運動を強化していかねばなりません。

川崎市社会保険推進協議会  
光野正洋



宮ヶ瀬ダム(川崎の水源地)の公園木陰でお弁当昼食

初日は好天に恵まれ、一路宮ヶ瀬の県立あいかわ公園へ。紺碧の空の下、広大な緑の芝生に座り込

宿泊先は「紅椿の湯」。国道からかなり下ったところにある、緑と清流に囲まれたサウナ室完備の大浴場、泊り客専用の小浴場などがあり、忙しい日常から解放されゆっくりとお湯につかりました。夜の交流会には、道志村在住の元川崎市会議員の前川さんの奥様、今回の案内役の杉山夫妻(私の兄)と知久さん(1年の半分は道志暮らしの私の夫)の

8月27日、28日、「ぐらしの相談センター」主催、道志村への研修旅行に参加しました。



道志川清流の傍に在る「紅椿の湯」

雨の中、山中湖、花の都公園、河口湖を巡り帰路につきま

鋼管通り 知久美子

んで食べたお弁当とビールの味は格別でした。昼食後吊り橋を渡る人、ロードトレイン「愛ちゃん号」に乗る人、ライブを聞きに行く人等々、それぞれがそれぞれに楽しんでいました。

その後の2次会には、たくさんのつまみと飲み物、そして何よりも楽しいおしゃべり。飲み、話し、笑いあっている間に夜が更けてしまいました。

4人も合流し、交流を深めました。

**小児医療費助成制度をめぐる状況について**



川崎市社会保険推進協議会(川崎市社保協)は、もう何年も前から小児医療費助成制度を一部負担金なし、所得制限なしで、中学校卒業までの医療費無料化を訴え続けている。請願署名を取組んできました。

署名は一万数千となり、今現在川崎市議会が継続審議となっています。川崎市社保協は審議促進の契機にしていこうと、2023年度予算要望書の策定にあたって、協議を繰り返して、川崎市長あての要望書を提出したばかりでした。9月1日の東京新聞に、自民党、公明党、みらいが小児医療費助成制度拡充の訴えを市長に申し入れたとの報道があり。そして、9月2日に開かれた川崎市議会の初日に市長が小児医療費の拡充についての発表をおこないました。

東京都が、来年度より高校3年生までの医療費を無料にすること、横浜市が、今ある所得制限や一部負担金を撤廃し、完全無料化を議会に提案することを決めました。粘り強い市民運動とこのことが川崎市長を動かしたのは間違いありません。これまで川崎市長は小児医療費助成制度が「自治体間競争になっている」「国の事業なので、国に求めていく」とし、川崎市独自の助成制度には頑なに拒否し続けてきました。近隣の1都3県の中では最低となっています。

オンデマンドプリント・ウェブシステム  
マグネットシート・ホームスニジ・DTP  
印刷のご用命は  
有限会社 **協立印刷社** へ  
ホームページ <http://www.kawa-kyo.co.jp/>  
川崎区貝塚 2-14-11  
tel 044-222-4205

昭和21年創業 **近代書房**  
古書売買 **日本の古本屋** 検索  
☆インターネット販売を始めた.....  
.....当店の新着情報をごらんください  
☆営業時間 10時～18時 定休日 月・木・曜日  
川崎市川崎区砂子 2-8-17  
tel 044-222-3482 fax 044-222-8484

《訪問リハビリ・マッサージ》  
(株)川崎幸はりきゅう院  
さいわい訪問  
マッサージセンター  
【各種保険取扱い】  
tel 044-555-6629  
fax 044-555-3241

キムチをつくり続けて30年  
新鮮野菜・キムチの  
(有) **グリーンフーズあつみ**  
ホームページ検索  
グリーンフーズあつみ 検索  
川崎区大島 3-35-7  
tel 044-288-7616